

平成25年度
事業報告書

公益財団法人にいがた産業創造機構

平成 25 年度 公益財団法人にいがた産業創造機構事業報告

1 活動の総括

平成 25 年度の我が国経済は、家計や企業のマインドが改善し、消費等の内需を中心として景気回復の動きが広がっているように見えるものの、国の経済対策による押し上げ効果や消費税増税を控えた前倒しの影響があるのが実情であり、駆け込み需要の反動減のほか、海外経済情勢や為替変動といった先行きリスクを抱え、企業経営は依然として厳しい状況となりました。

公益財団法人にいがた産業創造機構（以下「NICO」という。）は、以前として厳しい経営環境にある県内中小企業に対し、引き続き企業経営の安定化に努めるとともに、付加価値を高める創造的な活動支援、販路拡大支援及び健康ビジネスや新エネルギーなどの成長分野に挑戦する企業支援などに取り組みました。

また、NICOは、設立 10 年と公益財団法人への移行を契機に、NICO自体の付加価値を高め、「身近なNICO」「信頼されるNICO」を実現するため、支援体制を充実し、NICOの認知度向上、NICO利用企業の拡大に取り組みました。

2 今後の展開に向けて

NICOは、次のステージへ向けNICO自体の付加価値をより一層高めていくため、事業の充実と周知はもとより、コーディネートや情報収集・提供機能の強化など体制の充実を図るとともに、社会的責任を踏まえた適正な運営に努めることで、さらに企業から信頼される魅力的な存在になることを目指します。

そのためにも、市町村や金融機関、関係機関・団体とのより一層の連携を図り、県内各地で実施するNICOカフェ等を通じNICOの認知度を高めるとともに、企業ニーズや課題、これからの支援の方向性を探っていきます。そして、これまでの活動で蓄積してきたノウハウやネットワークを駆使し、新潟県の産業をもっと元気にするため、「本県産業の強みの更なる強化」と「成長分野に重点を置いた産業振興」、「NICOの体制充実・強化」に積極的に取り組んでまいります。

第 1 財団運営

1 理事会／評議員会の開催状況

(1) 理事会の開催状況

○第1回理事会（平成25年5月22日 万代島ビル11階会議室）

- 第1号議案 平成24年度事業報告について
- 第2号議案 平成24年度決算書について
- 第3号議案 平成24年度の資産の運用実績について
- 第4号議案 平成25年度の資産の運用計画について
- 第5号議案 理事候補者の選任について
- 第6号議案 平成24年度第3回理事会決議事項について
- 第7号議案 平成25年度補正事業予算について
- 第8号議案 定時評議員会の招集について

○第2回理事会（平成25年11月14日 万代島ビル11階会議室）

- 第1号議案 内部統制システムに関する規程の整備について
- 第2号議案 諸規程の一部改正について
- 第3号議案 臨時評議員会の招集について

○第3回理事会（平成26年2月21日 決議の省略）

- 第1号議案 平成25年度収支補正予算について
- 第2号議案 N I C O第4期中期計画について
- 第3号議案 評議員会の招集について

○第4回理事会（平成26年3月18日 万代島ビル11階会議室）

- 第1号議案 平成25年度収支補正予算及び公益目的保有財産の処分について
- 第2号議案 平成26年度事業計画について
- 第3号議案 平成26年度収支予算について
- 第4号議案 設備貸与事業及び設備資金貸付事業の借入について
- 第5号議案 法人の業務の適正化を確保するための体制整備について
- 第6号議案 評議員会の招集について

(2) 評議員会の開催状況

○第1回評議員会（平成25年6月10日 万代島ビル11階会議室）

- 第1号議案 平成24年度事業報告について
- 第2号議案 平成24年度決算書について
- 第3号議案 理事の選任について
- 第4号議案 平成24年度第3回理事会決議事項について
- 第5号議案 平成25年度補正事業予算について

○第2回評議員会（平成25年12月2日 決議の省略）

- 第1号議案 評議員の選任について

○第3回評議員会（平成26年2月28日 決議の省略）

- 第1号議案 平成25年度収支補正予算について

○第4回評議員会（平成26年3月28日 決議の省略）

- 第1号議案 平成25年度収支補正予算及び公益目的保有財産の処分承認について
- 第2号議案 平成26年度事業計画の承認について
- 第3号議案 平成26年度収支予算の承認について
- 第4号議案 設備貸与事業及び設備資金貸付事業の借入について
- 第5号議案 評議員の補欠選任について

2 設立10周年記念事業の開催

(1) N I C O 設立10周年「交流と感謝の集い」

平成25年6月10日開催

- パネルトーク：朱鷺メッセ 中会議室 参加者138名
N I C O 新事業育成メンター3名によるパネルディスカッション
- 交流会 : 万代島ビル31階展望室 参加者160名

(2) N I C O 設立10周年セミナー「人が輝く職場づくりセミナー」

平成25年9月3日 万代島ビル11階会議室

講師 人と経営研究所 所長 大久保 寛司氏 参加者103名

第2 事業概要

1 平成25年度の企業支援状況

企業支援状況等	延べ企業数
(1) 利用企業等	9,543
セミナー参加、各種相談等を含めた、NICO全体の利用企業	
(2) 育成・支援企業	2,049
創業や経営改善、基盤強化等、NICOの育成・支援策を活用した企業	
(3) 創業・新分野進出企業	104
新規創業や新分野進出、画期的商品の開発等、事業成果が確実となった企業	

【参考】第4期（平成25～28年度）中期目標の達成状況

	中期目標 (H25-28)	実績 (H25)	達成率
(1) 利用企業等	40,000社以上	9,543社	23.9%
(2) 育成・支援企業	6,800社以上	2,049社	30.1%
(3) 創業・新分野進出企業	410社以上	104社	25.4%

2 主な取組成果等

(1) 産業基盤の強化及び付加価値を高める企業活動の支援

- 円高が進行している状況下において事業拡大や新分野進出等に取り組む県内中小企業の設備投資を支援するため、設備導入に必要な資金の一部に所定利子相当額を助成する「マイナス金利」を実施した。
 - ・円高対策設備投資緊急促進事業：助成決定数 459 件、助成額 982,256 千円
- 消費税増税後の景気の腰折れが懸念されることから、新たな成長が期待される分野や事業拡大・新分野進出等に取り組む企業への設備投資を支援するため、設備導入に必要な資金の一部に所定利子相当額を助成する「マイナス金利」を実施した。
 - ・消費税増税対策設備投資緊急促進事業：助成決定数 19 件、助成額 71,492 千円
- 創業セミナーや講座を開催し、創業意識の啓発、起業家の掘り起こしを行うとともに、創業や起業にチャレンジする起業家に必要な経費を助成した。
 - ・新規創業サポート事業：12 件、助成額 31,639 千円
 - 事業の進捗状況把握や企業からの要請に応じメンター等の指導助言により、継続して成長をサポートしていく。
 - ・起業チャレンジ奨励事業：28 件、助成額 42,758 千円
- 新製品、新技術の開発に挑戦する企業への支援
 - ・ゆめづくり助成事業：6 件、助成額 5,278 千円
 - ・高付加価値化サポート助成事業：26 件、交付決定額 140,834 千円
 - (一般枠：2 件、わざづくり枠：11 件、ものづくり枠：13 件)
 - 事業の進捗状況把握や企業からの要請に応じ専門家等の指導助言により、事業化をフォローしていく。

- 産学官の連携等による県内企業の競争力ある技術の高度化を支援するため、経済産業省の競争的資金の管理法人として3件の事業を受託したほか、にいがた産業夢おこし基金を活用し3件の市場開拓プロジェクトに対し助成を行い、先進的な研究開発などの基盤づくりに取り組んだ。
 - ・戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン）：3件（継続分）
 - ・市場開拓技術構築事業（にいがた産業夢おこし基金事業）：3件（継続分）

（２）新潟県産の優れた生産財、消費財の販路拡大の支援

- 新技術提案型の展示会による支援として、首都圏の大規模な展示会への出展を通じて新潟県内企業の優れた技術力をアピールしたほか、大手メーカーに対する技術力を提案する商談会を開催した。
 - ・「機械要素技術展 M-tech」への出展支援：参加 34 社
 - ・㈱クボタ「にいがた新技術・新工法展示商談会」の開催：参加 38 社
 - ・『電子部品 E X P O』への出展支援：参加 12 社
- 戦略的な国際ブランド構築の取組として、「百年物語」ブランドによる高付加価値型の商品開発を行い、ドイツ・フランクフルトのアンビエンテ・メッセの出展を通じて県内企業の国際的市場拡大を図ったほか、国内外において14回の展示販売会を実施した。
 - ・「百年物語」ブランド商品の国内外販売実績（小売額ベース）販売額約1億8千万円 ※H25年9月末現在
- 売れる食品づくりと販路拡大の取組として、「食品」に対するマーケットイン視点の商品開発・ブラッシュアップや首都圏を中心とした市場開拓を支援し、県内食品産業全体における高付加価値化の促進を図った。
 - ・新潟うまいものセレクション会議：参加 23 社（支援決定 20 社）
 - ・うまさぎっしり新潟「食の大商談会」：出展者数 127 社、商談件数 586 件
 - ・スーパーマーケットトレードショー2014：出展者数 43 社、商談件数 475 件
- 県産品の販売を促進する取組として、全国の百貨店等で「新潟物産展」を開催した。
 - ・百貨店：県外 10 会場 ・販売額約 3 億 9 千万円

（３）健康ビジネス及び新エネルギーの成長分野に挑戦する企業支援

- 今後の成長産業と期待される健康ビジネスや新エネルギー関連産業への支援を行うプロジェクトチームにより、重点的・機動的な企業支援を行った。
 - ・高付加価値化サポート支援事業（わざづくり枠）や市場開拓技術構築事業、経済産業省の競争的資金の活用による技術・製品開発、研究開発等の支援：11 件

（４）「身近なNICO」「信頼されるNICO」実現に向けた体制の充実強化

- NICOの認知度向上及び利用者数の拡大を目的に、関係機関や団体と連携し、県内各地で企業相談会（NICOカフェ）を開催した。
 - ・NICOカフェ：県内6地域（県北、阿賀北・五泉、魚沼、柏崎、上越、佐渡）
延べ 88 回 相談件数 91 件

第3 事業報告

I 新潟県産業の「強み」の更なる強化

1 創業・経営革新支援

創業や新技術・新商品の開発等に関する経費の一部を助成するほか、専門家による助言・指導等により、創業や新分野進出、事業の高付加価値化の取組を支援した。

① 創業チャレンジ支援事業

ア 新規創業サポート事業

独創的な技術やアイデアをもとに県内で創業しようとする起業家に対して、創業期に必要な経費の一部を助成した。(12件、助成額 31,639 千円)

	採択企業名	所在地	テーマ	備考
1	合同会社直送計画	新潟市	生産者直送の特産品お取り寄せサイト「産地直送計画」の運営とネット販売コンサルティング	2年度目
2	Tsugi 合同会社	新潟市	デジタルサウンドの共同開発及びデジタルサウンド作成ツールの提供	2年度目
3	(株)セトワイナリー	新潟市	農業観光型ワイナリーの運営	2年度目
4	(株)ふふふ	三条市	女性のDNAに直接訴えかける食品を中心とした商品ラインナップの企画・製造・販売と新たな販売チャネルの開拓	新規
5	(株)魚沼プロジェクト	魚沼市	イエバエ幼虫を用いた豚糞処理システム	新規
6	(株)イマジネイティブ・ムービーズ	新潟市	CM制作のノウハウでつくる動画コンテンツを多くの動画媒体へと低価格で展開できる、ワンストッププロダクションの構築と動画利用コンサルティング	新規
7	Jam Session People(株)	三条市	キネマ・カンテツ座	新規
8	(株)Cloud 9	千葉県	総合型地域スポーツクラブ・アルビレックスと提携したアスリートマネジメント事業	新規
9	(株)ジーマックスコーポレーション	燕市	カルロックツールの製造販売	新規
10	(株)美 SYNDICATE	新潟市	新潟から発信する化粧品ブランドの開発	新規
11	(株)ファーストビュー	新潟市	双方向型ネット予約サービスビジネス	新規
12	(株)ファーストイノベーション	佐渡市	パッシブUHFタグを活用したスポーツイベントの企画運営とイベント運営会社の設立	新規

イ 起業チャレンジ奨励事業

若い世代による起業を奨励するため、関係団体と連携しながら起業家を発掘し、その新事業の立ち上げ段階におけるリスクを軽減する助成を行った。

- ・採択件数 28 件、42,758 千円

ウ 起業支援関連講座開催事業

○起業支援関連講座の開催

- ・起業塾

(平成 25 年 7 月 18 日～8 月 22 日までの全 5 回、参加者計 9 名)

- ・起業道場

(平成 25 年 6 月 9 日～8 月 18 日までの全 5 回、参加者計 33 名)

② ゆめづくり助成事業

独自の技術やアイデアを新たな事業展開に結び付けるための準備（企画・調査、市場調査、事業可能性調査）に要する経費の一部を助成した。

	採択企業名	所在地	テーマ
1	真丸特殊紙業(株)	阿賀野市	簡易自律袋と自律推奨デザイン袋の開発に関わる調査
2	N-ルミネセンス(株)	新潟市	LED 植物工場用高機能蛍光体の開発
3	(株)ディックコーポレーション	柏崎市	防刃ベスト(仮名称)安全性向上
4	(株)青柳	十日町市	当社新技術「糞量絢染め」を用いた新作おしゃれ着尺の市場における優位性の確保について
5	興和電子工業(株)	糸魚川市	電圧検出トランスの市場調査
6	(株)お茶の紫香園	阿賀野市	お茶の味覚を見える化

③ 高付加価値化サポート助成事業

ア 一般枠

新規性の高い技術等の研究開発事業及び独自の技術やアイデア等で従来にはない画期的な製品開発などにより企業収益の高付加価値化を図ろうとする取り組みに対して、その開発から販売プロモーションまでの一貫した事業に要する経費の一部を助成した。

	採択企業名	所在地	テーマ
1	TODA(株)	見附市	純マグネシウム及びマグネシウム合金の箔材を用いたプレス加工及び表面処理方法の研究開発
2	ウエタックス(株)	上越市	防水型探査装置の開発

イ わざづくり枠

今後、成長が期待される分野において行う、又は産学官が連携して行う、新規性の高い技術等の研究開発事業及び独自の技術やアイデア等で従来にはない画期的な製品開発など

により企業収益の高付加価値化を図ろうとする取り組みに対して、その開発から販売プロモーションまでの一貫した事業に要する経費の一部を助成した。

	採択企業名	所在地	テーマ
1	佐渡精密(株)	佐渡市	軽量・高トルクの空中無人輸送機用アクチュエーターの試作開発
2	山田精工(株)	魚沼市	プラスチック製シート型微小針アレイの量産化技術の開発
3	サイエンス(株) 津南町工場	津南町	アクアポニックス (A P S) 事業
4	まつや(株)	新潟市	新潟県産コシヒカリ玄米を原料としたスープの開発と拡販 ～新潟の美味しいお米で健康生活～
5	(株)サイカワ	柏崎市	電欠した電気自動車に電力を供給(給電)する為の、移動式充電器の商品開発
6	(株)ジェム・インパクト	新潟市	在宅医療・介護向けサウンドケア・システムの開発・販売
7	JMR(株)	新潟市	汎用性の高い動物実験用歯科インプラントシステムの研究開発
8	板垣金属(株)	三条市	リチウムイオンキャパシタ用集電箔の回折格子(DOE)を用いた高速微細加工技術の開発
9	(有)万栄産業	魚沼市	ポリエステルシートを使用しプレス方式による、エンボスキャリアテープの作成及び設備開発
10	清水工業(株)	三条市	ステンレス鋼板の段付きシゴキ絞り加工法の開発
11	いちごカンパニー(株)	胎内市	閉鎖型植物工場における LED を利用したイチゴ「えちご姫」の通年栽培

ウ ものづくり枠

地域中核企業が行う、又はブランド創出を目的として行う、新規性の高い技術等の研究開発事業及び独自の技術やアイデア等で従来にはない画期的な製品開発などにより企業収益の高付加価値化を図ろうとする取り組みに対して、その開発から販売プロモーションまでの一貫した事業に要する経費の一部を助成した。

	採択企業名	所在地	テーマ
1	(株)トライテック	柏崎市	ガラスびんへの直接加飾のためのインクジェット装置開発・製作
2	(株)セブン・セブン	燕市	チタンライフウェアシリーズの作成、販売による新規市場の創造
3	フジイコーポレーション(株)	燕市	世界初のツインカッター方式の自走刈払機を新潟から世界へ
4	マコー(株)	長岡市	3Dサポート除去用小型手動機の商品化
5	根茂織物(株)	十日町市	広巾生地の新規市場開拓のためのブランド化
6	オークス(株)	三条市	オリジナルブランド「leye」レイエの商品開発
7	カネコ総業(株)	三条市	CAN・ECOブランドのアイテム創出と可変具装置による新製品企画・開発

8	株式会社大湊文吉商店	加茂市	伝統技術を活かし、海外需要を元にした新型デザイン・パーテーション及びファッション雑貨等の開発
9	丸正ニットファクトリー(株)	見附市	長岡市山古志地区のアルパカ牧場飼育のアルパカ原料を有効活用した、地域発信ブランドの開発及び販売促進事業
10	株式会社ウメダニット	五泉市	ファクトリーブランドの構築
11	株式会社明間印刷所	三条市	「折りたたみ式立体教材」の特性を活用した、外国人観光客向けのインテリア雑貨商品の開発、製造販売事業
12	株式会社マルト長谷川工作所	三条市	ニッパー型爪切りを中心とした理美容用品のブランド構築と、その為の商品開発
13	株式会社このみ	妙高市	ファクトリーアパレルとしてのブランド化

④ 経営革新支援事業

中小企業者が行う新たな取組による経営の向上を支援するため、県からの受託により、現地調査等を含めた計画作成支援のほか、審査会の運営及びフォローアップを実施した。

○経営革新計画承認件数 36 件

○承認企業のフォローアップ実施件数 11 件

⑤ 緊急経営安定化支援事業

中小企業金融円滑化法の終了に伴い、経営の安定が急務となっている中小企業者に対する経営改善計画の策定支援を行う商工団体に事業に要する経費の一部を助成した。

・実施件数 489 件、助成金額 32,558 千円

⑥ 中小企業 IT 経営促進事業

県内中小企業の競争力強化を目指し、関係機関や IT コーディネーター等の専門家、中小企業団体及び金融機関などと連携し、県内中小企業による IT 経営の実践促進及び IT ベンダー競争力強化等を支援するためのセミナー・講習会の開催や個別支援を実施した。

ア セミナー事業

・IT 経営事例セミナーの開催 (3 回、参加者 110 社 143 人)

・ワークショップ (成果報告会) の開催 (1 回、参加者 32 社 44 人)

イ ユーザー向けクラウド活用講習会

・クラウド活用に向けた講習会の開催 (3 回、参加者 32 社 36 人)

・クラウド活用事例セミナーの開催 (1 回、参加者 48 社 61 人)

ウ 個別支援事業

・個別ガイダンス (ハンズオン支援に向けた事前ヒアリング等 8 社)

・ハンズオン支援 (経営戦略企画書及び IT 経営企画書の作成支援 9 社)

⑦ 外部人材による新ビジネス展開支援事業

マーケティング能力・マネジメント能力等を有する外部人材を活用し、新事業展開・新分野進出に取り組む中小企業者に対して、その人件費の一部を助成することにより、マーケットを重視した商品開発・販路開拓を支援した。

また、事業計画の実現可能性を高めるため、中間報告会を実施し、事業の進捗状況や目標の達成度合いなどについての報告を踏まえ、アドバイスを実施した。

	助成企業名	所在地	テーマ	事業年度
1	(株)穂海	上越市	広域にわたる米穀の集荷業務及び農場のグループ化、高級米市場から外食産業まで、マーケットインに基づく米穀の販売	23～25
2	コネクテックジャパン(株)	妙高市	半導体パッケージ組立ファウンドリーサービス	23～25
3	(株)WELCON	新潟市	拡散接合による三次元構造デバイスの市場拡大	24～26
4	(株)サトウフーズ	新発田市	新分野(介護・学校・コンビニ)への進出による販路拡大	24～26
5	(株)北雪酒造	佐渡市	培った伝統の技と「清酒用遠心分離機」を融合させた高品質な差別化商品の投入で売上増大を目指す	25～27
6	(株)ナノテム	長岡市	スマートフォン用カバーガラス向け的高速ラップ加工装置	25～27

⑧ 建設企業新分野進出等支援事業

建設企業等が新分野・新市場進出や、新技術・新工法開発等の経営革新に向けて取り組む事業に対し、必要な経費の一部を助成した。

	企業名	所在地	テーマ
1	(株)皆建	胎内市	新潟で自生したスナゴケの特徴を活かした、メンテナンスフリーの苔シート製造・施工・販売
2	金井度量衡(株)	新潟市	ハイパースペクトルカメラの建設分野への適用
3	(株)小池組	新発田市	民間構築物維持・管理・保全サービス業
4	大和運送建設(株)	柏崎市	育苗用人工床土の使用による、スナゴケの人工栽培の研究
5	五十嵐瓦工業(株)	阿賀野市	安田瓦の素材とスラブヒーターの組み合わせによる一般家庭向け「陶板浴キット」の開発
6	(株)北陸ジオテック	新潟市	建設現場等で発生する建設残土・建設汚泥等(産業廃棄物)の無害化及び、それに含まれる有効物質の抽出
7	(有)山田電機商会	見附市	価値観ある雪国野菜の生産・研究

⑨ 中小企業第二創業等促進事業

県出えんによる基金を造成し、中小企業が第二創業等の促進に向けた設備投資や業容拡大等に係る資金調達を特定社債により行う場合、その発行にかかる信用保証料の一部を助成した。(18件)

⑩ 知的資産経営支援モデル事業

知的資産経営に取り組む意欲のある中小企業経営者、中小企業を支援する専門家・コンサルタントなどの中小企業支援者、金融機関担当者等を対象として、意識啓発事業を実施し、知的資産経営の実践的な活用の浸透・拡大を図り、県内中小企業の業績の向上や企業価値向上に結び付けるための取組を実施した。

○知的資産経営活用セミナー（平成 25 年 10 月 4 日、参加者 50 名）

○知的資産経営レポート作成講座（平成 25 年 11～12 月 全 3 回コース、参加者 3 企業）

⑪ 投資事業有限責任組合事業

平成 25 年 10 月 9 日に新潟産業創造ファンド一号投資事業有限責任組合の事業を終了。

その結果、投資先企業の雇用者数で 2.7 倍、売上高で 3.4 倍の効果があった。

2 市場開拓支援

新商品開発、新事業展開における企画・開発から販売までの各段階に応じて、必要な支援を提供し、「売れるモノづくり」及び「売れる食品づくり」を目指したマーケティング活動を総合的に支援した。

① 新技術提案型展示会出展事業

ア 機械要素技術展 M-tech

・開催期間：平成 25 年 6 月 19 日～21 日（東京ビッグサイト）

・出展企業数：34 社（12 小間）、来場者数 76,701 名

・商談件数：591 件、成約件数 42 件 43,447 千円（開催から半年後）

イ ネプコン・ジャパン（電子部品 EXPO）

・開催期間：平成 26 年 1 月 15 日～17 日（東京ビッグサイト）

・出展企業数：12 社（4 小間）、来場者数 61,896 人

・商談件数：79 件（開催期間中）

ウ ㈱クボタ「にいがた新技術・新工法展示商談会」

・開催期間：平成 25 年 12 月 24 日（クボタサービスセンター：堺市）

・出展企業数：38 社、来場者数 466 人

・商談件数：19 件（開催期間中）

② 地域中核企業成長促進事業

地域の中小企業の受注拡大を図るため、地域内に協力企業を多数抱える企業に対し、国内・海外への見本市等の出展経費を助成した。

・助成実績：57 件 51,568 千円

③ 国際展開総合支援事業

海外ビジネスに必要な情報の提供や海外見本市等への出展支援のほか、海外コンサルタントや海外事務所の活用などにより、県内企業の国際ビジネス展開を総合的に支援した。

ア 海外販路開拓

○海外見本市等出展支援

(中国・香港)

- ・ハルビン国際経済貿易商談会（一般消費財）：平成25年6月15日～19日
出展企業9社、商談数115件、商談成約・見込73件1,800千円
- ・香港フードエキスポ（食品等）：平成25年8月15日～17日
出展企業5社、商談数297件、商談成約・見込12件48,050千円
- ・中国国際工業博覧会〔上海〕：平成25年11月5日～9日
出展企業6社、商談数301件
- ・上海華東輸出入商品交易会（一般消費財）：平成26年3月1日～5日
出展企業8社、商談数201件、商談成約・見込10件1,600千円

(韓国)

- ・Tool Tech（機械及び工具関係）：平成25年10月16日～19日
出展企業6社、商談数61件、商談成約・見込15件12,480千円

(台湾)

- ・台湾ハードウェアショー（工具、測定機器）：平成25年10月21日～23日
出展企業6社、商談数148件 商談成約・見込9件5,350千円

(シンガポール)

- ・Oishii JAPAN（食品等）：平成25年10月17日～19日
出展企業9社、商談数324件 商談成約・見込27件13,900千円

(ベトナム)

- ・MTAベトナム（工作・機械技術）：平成25年7月2日～5日
出展企業5社 商談数250件 商談成約・見込3件500千円

○海外商談会

- ・食品輸出商談会 in 新潟2014（ジェトロ新潟と共催）：平成26年3月11日
参加海外企業数等18社、12ヶ国・地域
参加県内企業数40社
商談成約・見込36件14,600千円
- ・シンガポール ミニ商談会：平成26年1月31日
参加県内企業数5社

○海外物産展

- ・シンガポール伊勢丹新潟フェア：平成25年10月18日～28日
参加県内企業数14社
- ・香港そごう新潟フェア：平成26年3月26日～4月1日
参加県内企業数10社

○海外見本市等出展事業助成金

企業・団体が自ら出展・主催する海外見本市・商談会に対して助成を行った。
助成実績：17件 3,424千円

○海外事務所運営

新潟県ソウル事務所、新潟県大連経済事務所を運営し、県内企業の国際ビジネス展開を支援した。

イ ビジネスコンサルティング等

○中国ビジネスコンサルティングサービス

上海のコンサルタント会社との委託契約により、県内企業の要望に応じた調査を行い、その費用の半額を助成した。(利用件数：4件)

○海外ビジネスコーディネーター設置

中国、韓国、ロシア、台湾、タイ、モンゴルなどアジアの主要都市等に配置した海外ビジネスコーディネーター(22名)が県内企業等のビジネス展開等を支援した。
(利用件数：27件)

ウ 海外ビジネス情報提供

○貿易実務講座

ジェトロ新潟と共催で貿易の実務について、実践的に学ぶ講座を開催した。

- ・初級講座 4会場(新潟：55名 長岡：28名 上越：30名 県央：51名、各2日間)
- ・中・上級講座 1会場、4コース(県央、各1日間、参加者延べ102名)
- ・基礎編 1会場(県央：46名、1日間)

○海外セミナー

シンガポールの海外ビジネスコーディネーター等を講師に迎え、海外の現地事情等をテーマとしたセミナーを4回実施した。

④ 県産品販路開拓支援事業

ア 首都圏販路開拓支援事業

「食」を中心とした情報の発信基地である表参道・新潟館ネスパスの物販機能やイベントスペースを活用して、県産品の販路拡大を支援した。

また、首都圏ビジネスの活動拠点としてオープンオフィスを提供し、県内企業の首都圏展開を支援した。

○首都圏情報発信の推進

県産品販売・飲食提供、イベント開催、ネスパスニュース、メールマガジンの定期発行、ホームページの運営、その他各種媒体を通じて新潟の魅力と食情報を発信し、新潟のイメージアップに努めたほか、首都圏の消費者動向を県内生産者にフィードバックした。

また、表参道・新潟館ネスパス運営委員会(有識者等により構成)を開催し、館の情報発信のあり方などをテーマに意見交換等を行った。

- ・各種イベントの実施(イベントスペースの活用)

64回、123団体・業者が参加したイベントを開催

- ・ネスパスニュース：隔月発行（毎回 25,000 部）
- ・メールマガジン：月 2 回配信（購読者数約 5,000 人）
- ・消費者評価フィードバック事業の実施
 - 実施回数 3 回（実施日：平成 25 年 4 月 24 日、10 月 30 日、平成 26 年 3 月 11 日）
 - 会 場 表参道・新潟館 ネスパス 3 階会議室
 - 対象商品 41 アイテム（延べ 30 社）
- ・表参道・新潟館 ネスパス運営委員会の開催
 - 開催時期 平成 26 年 2 月 3 日（月）
 - 会 場 表参道・新潟館 ネスパス 3 階会議室
 - テ ー マ 館の「食」及び「観光」の総合的かつ効果的な情報発信のあり方について

【販売等の状況（年間）】

物産販売額	390,227 千円	イベント販売額	36,773 千円
飲食販売額	80,018 千円	旅行商品販売額	30,381 千円
	合計 537,399 千円		（対前年度比 5.8%増）
入館者数	1,062,280 人		（対前年度比 5.8%増）

○オープンオフィスの運営

首都圏での県内企業の活動拠点として長期ブースを提供した。

3 社 3 区画入居／全 6 区画中 <H26.3 月末現在>

イ 百貨店及び総合スーパーマーケットでの物産展開催事業

全国各地の百貨店での「新潟物産展」開催を通じて、県産品の一層の販路拡大を支援した。

- ・県外百貨店物産展：10 会場（うち 3 会場は新規）、販売額約 3 億 9 千万円
（開催場所：浦和伊勢丹、マルイ海老名、高槻西武、沖縄リウボウ、名鉄、京急、小倉井筒屋、宮崎山形屋、鹿児島山形屋、銀座三越）

⑤ 食品産業マーケティング支援事業

ア 売れる食品づくり支援事業

- 食品開発セミナーの開催（1 回 参加者数 110 名）
講師：スーパーマーケット協会 榎山プランニングマネージャー及び株ユナイト商品開発担当 近藤達雄 氏
- 新潟うまいものセレクション会議の開催（参加企業数 23 社 支援対象決定 20 社）
- 首都圏消費者モニタリング（2 回 参加企業 10 社・27 アイテム）

イ 市場開拓支援事業

- 表参道・新潟館ネスパステスト販売（4 月から 2 か月毎に実施 23 社 44 品目）
- 表参道・新潟館ネスパス食品イベント（年 3 回開催 参加企業数 10 社）
- うまさぎっしり新潟「食の大商談会」の実施
開催日時：平成 25 年 9 月 20 日
開催会場：池袋サンシャインシティ（東京都）

出展企業数：127 社
来場者数：1,186 人
商談件数：586 件
成約件数：110 件 13,751 千円（平成 26 年 1 月末現在）

○スーパーマーケットトレードショー2014 への出展

開催期間：平成 26 年 2 月 12 日～14 日
開催会場：東京ビッグサイト（東京都）
出展企業数：43 社
来場者数：81,828 人
商談件数：475 件
成約件数：60 件、2,295 千円（平成 26 年 2 月末現在）

ウ 食の専門家による相談受付事業

商品開発、販路開拓、食品表示の専門家を配置し、企業が有する課題解決のための支援を行った。

⑥ 生活関連産業マーケティング支援事業

ア モノづくりクリニック

新商品開発にあたってのマーケティング、商品企画、デザイン、販売方法や広告宣伝、ブランディング等の相談に対応した。

- ・18 件対応

イ ニイガタ IDS デザインコンペティション 2014

提案性の高いオリジナリティのある作品を募集し、優秀な作品を表彰する。各分野の専門家が審査・助言することにより、魅力ある商品・システムづくりを支援するとともに、流通業界や生活者に向けてアピールした。

- ・募集テーマ：「生活ブランドの確立（Mono & System）をめざして」

- ・出品企業数 55 社（出品数 68 点）

- ・受賞作品等 IDS 大賞「爪ヤスリ・踵ヤスリ『シャイニーシリーズ』」(有)柄沢ヤスリ（燕市）
IDS 準大賞「新潟の二つの老舗工場から生まれた、メイドイン新潟の新しい製品開発『ニットーボー新潟×藤岡染工場』
ニットーボー新潟×藤岡染工場（阿賀野市）
IDS 賞 「小田式ミニ蒸しかまど」(有)小田製陶所（阿賀野市）
「スリム絶縁ドライバー」(株)兼古製作所（三条市）
「ブックマーカー（銅パターダマスカスレイヤー素材の習作）」
(株)諏訪田製作所（三条市）

他審査委員賞 6 点

⑦ 「百年物語」ブランド構築事業

県内生活関連産業の高度な技術を駆使した良質で長く使用できる商品を意欲的な参加企業とのコラボレーションにより開発し、国内外展示会等への出展を通して販路開拓及び情報発信を行い、ブランド確立に取り組んだ。

○ 百年物語ブランド確立事業

ア 商品開発

午年モデルの開発テーマを「Tools for a refined gentleman ～男を磨く「美しさ」と「力強さ」Vr.2～」とし、公募により県内企業12社を選定、デザインアドバイザーの指導によるデザインミーティングを5回開催し、個性的な生活シーンを提案する生活関連商品の開発を行い最終的に12社が新作の発表に至った。

イ 「百年物語」ブランドの国内外での新作発表、プロモーション活動

国際市場における販路と認知拡大を目指し、アンビエンテ・メッセ フランクフルト 2014（ドイツ：平成26年2月7日～11日）に出展（50件の商談実績）、国内ではインテリアライフスタイル TOKYO（東京ビッグサイト：平成25年6月5日～7日）に出展したほか、松屋銀座での展示会などをはじめ国内外での展示販売会を計14回実施した。（平成25年度展示会実績）

	名 称	会 期	会 場
1	新潟の「わざ」展～百年物語～	4/15～25	新潟空港 2階 出発ロビー（新潟市）
2	インテリアライフスタイル TOKYO	6/5～7	東京ビッグサイト西ホール（東京都）
3	父の日フェア 新潟・百年物語	6/11～17	新潟三越（新潟市）
4	新潟・百年物語	6/26～7/2	福岡岩田屋（福岡市）
5	暮らしのデザイン KITAS 新潟・百年物語	8/8～9/4	あべのハルカス（大阪市）
6	長岡デザインフェア 百年物語展示	9/21～23	長岡造形大学（長岡市）
7	暮らしのデザインフェア 新潟・百年物語	9/25～10/8	松屋銀座（東京都）
8	Niigata Crafts Exhibition	12/3～6	日本クラブギャラリー（ニューヨーク）
9	百年物語 展示販売	2/3～	メディアシップ（新潟市）
10	フランクフルト・メッセ・アンビエンテ 2014	2/7～11	フランクフルトメッセアンビエンテ（フランクフルト）
11	Exclusive collection From Niigata Japan	2/13～27	SHU SHU（ミュンヘン）
12	大新潟展	3/12～18	宮崎・山形屋（宮崎市）
13	百年物語 展示販売	通年	新潟ふるさと村アピール館（新潟市）
14	県内ブランド展示	通年	燕三条地場産業振興センター（三条市／燕市）

⑧ 新市場創出型マーケティング支援事業

○ 危機管理産業展 2013

・開催期間：平成25年10月2日～4日（東京ビッグサイト）

- ・ 出展企業数：12 社（8 小間）、来場者数 45,467 人
- ・ 商談件数：162 件、成約件数 21 件 1,101 千円（平成 25 年 10 月末現在）

⑨ 地域資源発掘型マーケティング事業

潜在的な経済価値を持ちながら、それが十分に認識されず活かされていない地域の「有効資源」を掘り起し、マーケティングや、商品化に必要な製造工程の開発、あるいは、地域ブランドのブラッシュアップ等により磨き上げようとする取組に対し助成を行った。

- ・ 採択件数 5 件、23,027 千円

3 経営基盤強化支援

中小企業が経済社会環境の変化などに対応し、その企業活動を継続・拡大するために必要となる経営資源の補完や、経営基盤の着実な強化のための支援を行った。

① 取引連携推進事業

ア 取引の紹介・斡旋や苦情処理

- ・ 下請取引に関する相談件数 252 件
- ・ 取引成立件数 82 件、取引成立金額 86,678 千円

イ 下請取引に関する苦情・紛争の処理

- ・ 下請代金法に基づいた問題解決を図るための個別対応を実施 6 件

ウ 受発注に関する情報の収集・公表

- ・ 県内生産動向調査の実施（平成 26 年 2 月調査、3 月公表）

② 円高対策設備投資緊急促進事業

急激な円高が進行している状況下において事業拡大や新分野進出等に取り組む県内中小企業の設備投資を支援するため、設備導入に必要な資金の一部に所定利子相当額を助成する「マイナス金利」を実施した。

- ・ 助成実績：助成決定数 459 件、助成額 982,256 千円

③ 消費税増税対策設備投資緊急促進事業

消費税増税後の景気の腰折れが懸念されることから、新たな成長が期待される分野や事業拡大・新分野進出等に取り組む企業への設備投資を支援するため、設備導入に必要な資金の一部に所定利子相当額を助成する「マイナス金利」を実施した。

- ・ 助成実績：助成決定数 19 件、助成額 71,492 千円

④ 設備貸与・設備資金貸付事業

ア 設備貸与事業

小規模企業の生産性の向上等、経営基盤強化を支援するため、長期かつ低利な割賦販売・リースを行った。

○決定状況 (金額単位：千円)

制度枠	決 定 状 況	
	件数	金 額
割 賦	0	0
リース	1	3,790
合 計	1	3,790

○業種別決定状況 (金額単位：千円)

業 種 名	決 定 状 況		
	件数	金 額	比率%
建 設 業	0	0	-
製 造 業	0	0	-
小売・卸売業	1	3,790	100
サービス業	0	0	-
そ の 他	0	0	-
合 計	1	3,790	100

イ 設備資金貸付事業

小規模企業の生産性向上等、経営基盤強化を支援するため、設備の導入に際して無利子貸付を行った。

○決定状況 (金額単位：千円)

事業額 (A)	件数	金 額
	12	66,850

○業種別決定状況 (金額単位：千円)

業 種 名	決 定 状 況		
	件数	金 額	比率%
建 設 業	6	31,480	47.0
製 造 業	3	22,000	32.9
小売・卸売業	1	3,140	4.7
サービス業	1	2,250	3.4
そ の 他	1	7,980	12.0
合 計	12	66,850	100

ウ 県単設備貸与事業

平成14年度までに設備の貸与を受けた企業に対して、貸与した設備の稼働状況及び債権管理等を目的とした事後指導を実施した。(巡回企業数 6社)

⑤ 下請かけこみ寺事業

中小企業の様々な取引上の相談に応じ、ADR(裁判外紛争解決)を活用したトラブルに対応

した。また、下請適正取引等の推進のためのガイドラインの説明会を開催し、下請取引の適正化を図った（経済産業省委託事業）。

- ・相談件数：61 企業 69 件

⑥ 外国特許出願支援事業

知的財産を活用した海外市場への新規参入や新事業展開を促進するため、外国特許及び意匠、商標出願に必要な経費の一部を助成した。

- ・地域中小企業外国出願支援事業補助金
採択 33 案件（特許 11 件、実用新案 1 件、商標 13 件、冒認対策商標 8 件）
助成額 24,128 千円（国庫補助金 16,076 千円、県補助金 8,052 千円）

⑦ 工業・商業経営改善支援事業

工業・商業診断助言に係る事業を県から受託して実施した。

- ・商店街や共同店舗組合が行う高度化事業に対する診断 6 件
- ・工業団地組合などが行う高度化事業に対する診断・助言 4 件

4 産学連携支援

企業ニーズと大学シーズのマッチングを目的とした産学研究交流会等の運営や共同研究のコーディネート、経済産業省の戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン）をはじめとした国等の競争的資金への提案支援や管理法人としての受託事業の運営管理など、県内産業の技術高度化、高付加価値化による競争力向上のための基盤づくりに取り組んだ。

① 産学連携事業

ア 産学官連携研究会・交流会等の運営・開催

企業と大学、公設試などとの情報交換や交流の場、研究開発活動への動機付けの場として各種研究会・交流会等を運営、開催した。

- 産学研究交流会
 - ・先進的金型研究会（5 回開催、参加者 109 機関 149 人）
 - ・摂食・嚥下障害サポート研究会（6 回開催、参加者 89 機関 315 人）
- 技術開発チャレンジ交流会（4 回開催、参加者 104 機関 134 人）
- 新潟産学官連携フォーラム（1 回開催、参加者 205 人）

イ 産学連携コーディネート

企業・大学等への訪問等により、産学共同研究体制の構築や研究開発計画の策定、国の競争的資金獲得などを支援した。

また、国等の支援制度の最新情報を分かりやすく紹介するため、支援制度説明会及び個別相談会を開催するとともに、研究開発支援サイトを運営した。

- ものづくり支援制度説明会（説明会参加者 214 人、個別相談件数 34 件）

そして、今年度 NICO が管理法人等となった国等の競争的資金受託件数は 3 件、全体契約金額は約 0.8 億円であった。

事業名	テーマ	事業年度
戦略的基盤技術高度化支援事業 (経済産業省)	不等リード不等傾斜角スクリーブスターポンプの製品開発と実用化に向けての技術開発	23～25
	リチウムイオン電池用タブリードの高精度せん断加工技術の開発	24～26
	セラミックを用いたステンレス鋼板の温間ドライ絞りしごき加工法の開発	24～26

ウ 戦略的基盤技術高度化支援事業（経済産業省委託事業）

製造業の国際競争力の強化と新たな事業の創出を目指し、中小企業のものづくり基盤技術（鋳造、鍛造、切削、めっき等 22 分野）の高度化に資する研究開発の促進を目的とした戦略的基盤技術高度化支援事業を活用し、県内中小企業等の研究開発を推進した。

<平成 25 年度実施の主な事業>

○ 不等リード不等傾斜角スクリーブスターポンプの製品開発と実用化に向けての技術開発

太陽電池、LED、半導体等の製造における超高生産性化、省エネ化等の課題を解決する不等リード不等傾斜角スクリーブスターポンプを開発する。

○ リチウムイオン電池用タブリードの高精度せん断加工技術の開発

電気自動車等のリチウムイオン電池に使用するタブリード（極軟質金属薄板）を高精度・バリなしでせん断加工する技術を確立する。

○ セラミックを用いたステンレス鋼板の温間ドライ絞りしごき加工法の開発

自動車エンジンのタイミングチェーンテンションの調整機構部品の材質をステンレス鋼に転換し、セラミック金型を用いた無潤滑・洗浄レス絞り加工技術を開発する。

② ナノテク研究センター運営事業

超精密・微細加工技術に関連した研究開発機器設備を企業・大学・公設研究機関等の研究開発に活用し、ナノテク分野の研究開発とそれらを応用した高付加価値製品の開発を支援した。

・利用状況：企業利用 103 件（472 時間）、大学・研究機関等利用 99 件（503 時間）

<H26.3 月末現在>

5 戦略的産業人材育成

県内産業の競争力強化を目指し、独創的な新商品・新技術開発により企業業績に貢献できる産業人材の育成に取り組んだ。

① モノづくり革新人材群形成事業

機械関連企業の競争力強化を図るため、開発・設計に携わる技術者を対象とした講座の提供を行い、企業の人的基盤の強化と人的ネットワークの形成を促進した。

<H26.3月末現在>

コース名	対象者	実施期間(時間)	定員	申込企業	受講者
設計基礎コース	設計の初心者	H25.7.2~25.8.27(45)	20	20	20
長岡モノづくりアカデミー 開発設計コース	開発・設計の 若手技術者	H25.5.9~25.9.27(77)	20	19	20
長岡モノづくりアカデミー 3D-CAD/CAE コース	開発・設計の 若手技術者	H25.10.4~25.12.13(69)	15	17	19
設計実践コース	設計の中堅 技術者	H25.8.21~25.10.16(45)	20	18	20

② 高度IT人材育成事業

県内IT関連産業の競争力強化を目指し、ITの最新技術動向を踏まえエンタープライズ系技術者育成研修による人材育成に取り組んだ。

コース名	実施数	申込者数	修了者数
ソフトウェア開発技術向上コース	4	58	56
プロジェクト マネージャー育成コース	4	35	35
ICT スペシャリスト育成コース	13	150	150
アプリケーションスペシャリスト育成コース	10	86	86
ヒューマンスキルコース	6	83	81
計	37	412	408

6 企業再生支援

① 中小企業再生支援協議会事業

企業再生に意欲を持つ中小企業者に対し、経営上の相談に応じて課題解決に向けた適切なアドバイスを行い、事業の見直しや金融機関との調整などによって再生の可能性がある場合には、事業再生計画の策定支援を実施した。更に、策定支援完了先に対してモニタリングを行った。

また、協議会事業の普及啓発のため、セミナーや説明会・個別相談会を開催した。

- 経営相談件数 101 件（新規相談件数 97 社）
- 事業再生計画の策定支援完了件数 93 件
- モニタリング実施先 83 件（延べ 101 回）
- にいがた中小企業支援ネットワークの開催（金融機関及び支援機関の担当者向け）
幹事会
 - ・平成 25 年 5 月 9 日 新潟県信用保証協会 本店分室 22 名参加
 ネットワーク（セミナー）
 - ・平成 25 年 6 月 4 日 NICO プラザ会議室 93 名参加
 - ・平成 25 年 12 月 5 日 NICO プラザ会議室 98 名参加

- 金融機関、信用保証協会とは再生事例研修、士業等とは再生支援の考え方・再生手法などの説明会を計 17 回実施
- 昨年度から協議会内に設置している「経営改善・資金繰り相談窓口」で、16 件の相談を受けた。

② 経営改善支援センター事業

金融支援が必要な中小企業・小規模事業者が、一定の要件の下で、国の認定を受けた経営革新等支援機関（認定支援機関：税理士、税理士法人、公認会計士、中小企業診断士、商工会、弁護士等）に経営改善計画の策定を依頼した場合に負担する計画策定費用及びモニタリング費用の一部の補助を行った。

- 問い合わせ・相談受付数 123 件
- 利用申請受付数 35 件

7 支援体制の整備

新事業育成メンターやアドバイザーを中心とした、各分野の専門家からなるブレンネットワークの活用や専門家派遣などにより、企業に対するきめ細かな助言・指導、事業計画の評価などを実施した。

① ブレンネットワーク活用

経営・マーケティング等の知見に富む外部人材のネットワークを活用し、中小企業からの様々な相談に対して適切な助言やコーディネートを行ったほか、中小企業の経営革新や創業の計画・取組に対する評価・指導を実施した。

- 新事業育成メンター・アドバイザー等による相談 162 社（351 件）

② 関係機関連携事業

県内外の支援機関との連携を強化し、相談案件の発掘に努めたほか、セミナーの共催や事業説明会、相談会の開催等を通じ、N I C O の P R、事業の利活用促進を図った。

ア N I C O カフェ（企業相談会）の開催

気軽に N I C O を利用してもらえる仕組みとして、新たに中小企業向け相談会を県内 6 地域で定期的で開催し、N I C O の認知度向上及び支援策の利用促進の発掘を図った。
（実施回数 88 回、相談件数 91 件）

イ 関係団体が実施するセミナー等の共催、後援

県内各地域の中小企業向けに、県や市町村、商工団体等が実施するセミナー等を共催、後援した。（18 件実施）

ウ 地域支援機関等と連携した事業説明会、連携事業の開催

県及び市町村、商工会議所等の地域支援機関と連携し、事業説明会を開催し、意見交換、情報提供のほか、N I C O の事業周知と支援策の利用促進を図った。（23 回実施）

エ 全国支援機関等と連携した意見交換、情報提供等

関東経済産業局や中小企業基盤整備機構、各都県（関東ブロック管内等）との意見、情報交換や連携を通じて、県内中小企業に向けた国実施の支援施策の紹介等、情報提供や仲介を行った。

オ 新潟県信用保証協会との連携保証（ニコットⅠ・Ⅱ）の実施

新潟県信用保証協会との提携による信用保証を「新規創業サポート助成金」、「ゆめづくり助成金」「高付加価値化サポート助成金」及び「建設企業新分野進出等支援助成金」等の交付決定を受けた中小企業者を対象として実施した。

③ 専門家等派遣事業

N I C Oに登録している外部専門家を継続的に派遣し、中小企業が抱える様々な課題の解決に向けた適切な診断・助言を行った。また、利用者の利便性向上のため速やかな派遣対応を行った結果、派遣した企業は66社（368回）となった。

④ N I C Oプラザ、N A R I C施設管理事業

県施設「起業化支援・交流拠点施設（N I C Oプラザ）」の管理運営を指定管理者として県から受託し、主に情報通信産業等における創業者を育成・支援するための創業準備オフィスのほか、会議室などの管理運営を行った。

・創業準備オフィス入居企業数：10社（10室） / 全10室中 <H26.3月末現在>

また、研究開発型企業の起業を支援するため「長岡リサーチコア・インキュベートセンター（N A R I C）」の貸室を低廉な料金で賃貸するとともに、技術相談や各種の助成制度における申請支援を行った。

・N A R I C入居企業数：5社（6室） / 全11室中 <H26.3月末現在>

8 情報の受発信

タイムリーなテーマ設定での各種セミナーや実践的な講座の開催により、企業の新たな取組を促進するとともに、ホームページやパブリシティ活動などにより、ビジネス情報等の発信を行った。

① 情報受発信事業

企業活動に有用な情報（技術開発、市場動向、販路拡大など）を効果的に発信し、企業経営を支援するとともに、N I C Oの支援事業の利用促進を図るため、N I C Oの活動内容や支援企業の取組を県内外に向け広報した。

○マスコミへのニュースリリース件数：60件、リリースによる掲載回数 67回

○機関誌N I C Oプレス発行（10回）、パンフレット等の自主媒体による情報発信

○N I C O事業の新聞広告掲載：10回

○メールマガジンの配信：50回

② 実践講座等開催事業

ア セミナー・講座の開催

- ・ 広報チャレンジセミナー（平成 25 年 7 月 3 日 参加者 69 名）
- ・ 広報力パワーアップ実践講座（県内 3 会場、参加者計 25 名）
- ・ 商談力向上セミナー（全 2 回 受講者 20 名）
- ・ 人が輝く職場づくりセミナー（平成 25 年 9 月 3 日 参加者 103 名）

イ 広報相談会の開催（60 回、利用企業数 135 社）

③ NICOクラブ運営事業

NICOの目的・活動に賛同する者で構成する会員制クラブを運営し、会員に対しては機関誌NICOプレスの送付やセミナー開催等を通して、企業経営に役立つ情報の提供や会員相互の情報交換を行うとともに、会員の拡大に努めた。

- 会員数 1,040 人（平成 26 年 3 月末現在、前年度比 9 名増）
- クラブセミナーの開催（4 回、参加者計 291 人）
- クラブセミナー交流会の開催（1 回、参加者計 18 名）

II 成長分野に重点を置いた産業創出

1 成長産業の育成（健康ビジネス、新エネルギー等）

① 新成長分野の設備投資促進

「健康・福祉・医療」、「新エネルギー」、「観光」等、新たな成長が期待される分野における企業等の設備投資を支援し、その経営基盤の強化を図るため、設備の導入に必要な資金の一部について、所定の利子相当額を助成する「マイナス金利」を実施した。

・助成実績：助成決定数 114 件、助成額 722,453 千円

② 健康ビジネスの振興

健康・福祉・医療関連ビジネスに関する県内企業の研究開発や産学連携、異業種連携などの発掘・育成、コーディネート活動等を通じて、事業連携や実用化研究等を促進した。

ア 新商品・技術開発等支援

高付加価値化サポート支援事業（わざづくり枠）の活用により意欲ある企業に対して新商品・新技術開発等の支援を行った。

○高付加価値化サポート支援事業（わざづくり枠）（再掲）

- ・「プラスチック製シート型微小針アレイの量産化技術の開発」
- ・「新潟県産コシヒカリ玄米を原料としたスープの開発と拡販」
- ・「在宅医療・介護向けサウンドケア・システムの開発・販売」
- ・「汎用性の高い動物実験用歯科インプラントシステムの研究開発」

イ 新たな市場開拓の取組支援

市場開拓技術構築事業の活用により、大学、中小企業等の共同事業体に対し、県内産業の市場競争力向上による活性化を目的とした新たな市場開拓のための取組を支援した。

○地域技術基盤高度化支援事業（市場開拓技術構築事業）（別掲）

- ・「熱傷治療技術を応用した在宅介護ベッドシステムの開発と市場開拓」
- ・「新潟発・革新的脊椎診断／評価システムとインプラントの開発」

ウ 関係団体等と連携した新規参入支援

「新潟県健康ビジネス協議会（現「一般社団法人健康ビジネス協議会）」や「新潟県医療機器インダストリアルボード」と連携し、健康産業や医療機器ビジネスへの参入に向けた各種支援を行ったほか、「にいがた摂食・嚥下障害サポート研究会」の運営を通じて、新潟大学医歯学総合病院と連携した現場発の商品の開発に取り組んだ。

③ 新エネルギー関連産業の育成

新潟県が進める「新潟版グリーンニューディール」政策に基づき、企業の新エネルギー関連産業への参入を促進するため、販路拡大の支援を行った。

○次世代産業ビジネスマッチング会の開催

大和ハウス総合研究所、本社企画担当による商品開発のアドバイスを実施し、大和ハウスとのマッチングの可能性について商談を併せて実施。

「大和ハウス(株)ビジネスマッチング会」

- ・開催日 平成 25 年 9 月 11 日 (水)
- ・開催場所 大和ハウス(株)新潟支店 会議室
- ・商談企業数 17 社 2 大学 1 公設試
- ・商談結果 継続した打合せ、現地訪問等 4 社

○大規模展示会

新潟県が進める DME 事業の普及、活用促進を図るため、国内最大級のエネルギー展示会に「新潟 DME 研究会」と共に出展し、PR に努めた。

- ・展示会 スマートエネルギーWeek2014「水素・燃料電池展～FC EXPO 2014」
- ・開催期間 平成 26 年 2 月 26 日 (水) ～2 月 28 日 (金) 3 日間
- ・出展ブース来場者数 342 名

2 地域技術基盤高度化支援（にいがた産業夢おこし基金事業の活用）

県内産業の市場競争力向上による活性化を目的として、マーケットや業界の将来動向を見据えて取り組む新たな市場開拓プロジェクトに対して助成した。

① 未利用低温排熱利用の発電システムの技術開発（平成 22 年度採択）

効果的な集熱装置、サーモサイフオンの開発と効率の良いスターリング発電機により 150℃～200℃の低温排熱を電気エネルギーに変換する発電システムを開発する取組を支援した。

<平成 25 年度の取組>

- ・発電システムにおける集熱、熱輸送、スターリング発電機などの各構成要素の試作及び特性評価を実施
- ・スターリング発電機の実証試験及び性能評価を実施

<平成 25 年度の成果>

- ・スターリング発電機により 200W を超える安定した発電能力を確認
- ・事業化に向けた効率や耐久性向上などの実施課題を整理し、今後の取組計画を策定

② 新潟発・革新的脊椎診断/評価システムとインプラントの開発（平成 24 年度採択）

脊椎安定性評価システムの開発及びインプラント改良技術開発、術前検討環境開発に係る取組を支援した。

<平成 25 年度の取組>

- ・椎安定性評価システム開発
- ・インプラント改良技術開発
- ・術前検討環境開発

<平成 25 年度の成果>

- ・評価システムの機械要素選定のための調査、棘突起固定用の鋼線の設計、及び骨モデルを用いた固定性に関する強度試験を実施した。
- ・低弾性高強度チタン合金の開発と開発したチタン合金の加工技術の高速化を行った。
- ・医用画像データに基づく 3Dモデリングを実施した。

③ 熱傷治療技術を応用した在宅介護ベットシステムの開発と市場開拓（平成 24 年度採択）

熱傷治療ベッドの低接触負荷技術を床ずれ防止に応用するための、工学的エビデンスと臨床データの取得、在宅介護市場の開拓を目指す取組を支援した。

<平成 25 年度の取組>

- ・熱傷ベッドを褥瘡治療に適用する為の臨床研究
- ・褥瘡予防・治療ベッドの開発
- ・在宅介護システムの事業化

<平成 25 年度の成果>

- ・褥瘡予防、治療研究症例を確保し、従来病棟ベッドとの比較試験データ取得
- ・軽ビーズ重量低減用試作、ギャッジアップバックレストの試作
- ・公益財団法人テクノエイド協会の認定取得、ベッド設置施設シミュレーションの検討、ベッドの特性を利用したオムツ交換方法の選定

3 クラウド活用型ビジネスの創出

クラウド等新たな IT 技術を活用し、農業や観光産業といった新潟県の重点産業分野の成長を促すため、県内 IT 関連産業等による付加価値の高い IT 活用型ビジネスモデルの創出に向けた支援に取り組んだ。

○ クラウド活用型ビジネス創出事業

ア セミナー開催

- ・OSS ライセンスの基礎（20 社 25 人参加）
- ・クラウドアプリ開発事例セミナー（16 社 31 人参加）
- ・無線 LAN 最新動向セミナー（18 社 29 人参加）
- ・ワークショップ IaaS・PaaS の技術課題（3 社 6 人参加）
- ・2013 年度 情報セキュリティセミナー（26 社 40 人参加）

イ 事業評価委員会（2 回開催）

ウ IT 戦略研究会の開催

IT ベンダーと IT ユーザーが連携して、IT を活用した「儲かる仕組みづくり」を検討するための研究会を広範囲に展開し、重点業種ごとの具体的なビジネスモデルを検討するとともに、そのビジネスモデルの具現化を支援した。

- ・農業 BtoB 電子商取引サイト IT 戦略研究会（クラウド活用型農業支援システム「アグ

- リポート」をベースとした農業生産物の BtoB 電子商取引サイトの構築に向けた検討)
- ・気象データ等活用システム IT 戦略研究会 (気象データ等や食品スーパーが持つ販売データ等をもとに、重回帰分析によって需要を予測するシステムの検討)
 - ・在宅字幕作成支援システム IT 戦略研究会 (テレビ放送向け字幕作成業務を題材に、在宅ワークにおける受発注管理・進捗管理等を行うクラウドシステムの検討)

エ 県内 IT 関連企業のプロモーション

情報戦略チーム専用のホームページにより、IT 関連情報・県内 IT 関連企業の新技術・新製品情報、セミナー開催情報、IT 経営実践企業紹介等の情報を発信した。

- ・ホームページ名 「新潟県 IT ビジネスフォーラム (<http://www.it-nico.com>)」

第4 法人の業務の適正を確保するための体制の整備についての理事会決議

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第2項第2号に規定する法人の業務の適正を確保するための体制の整備についての理事会決議の概要は以下のとおりである。

(平成26年3月18日理事会決議)

No	整備する体制（●関連規程）	概要
1	理事の職務が法令及び定款に適合することを確保するための体制 ●倫理規程 ●コンプライアンス規程 ●公益通報者保護規程	○理事の法令・内部規程遵守 ○理事会における相互監督、法令・内部規程違反の監事及び理事会への報告 ○コンプライアンスの推進及び法令違反等の早期発見努力、等
2	理事の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制 ●処務規程 ●情報システムの運営管理に関する規程	○評議員会、理事会などの議事録や重要な決裁文書等、理事の職務執行に関する重要文書の保存管理 ○情報セキュリティの適切な取り扱い、個人情報保護の徹底、等
3	損失の危機の管理に関する規程その他の体制 ●リスク管理規程	○重大なリスクに関する対応、リスク管理体制の構築 ○重大な災害への対応、等
4	理事の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制 ●定款 ●処務規程 ●財務規程 ●事務局の組織等に関する規程	○定款に基づく理事会での機関決定 ○その組織的かつ効率的な業務執行 ○職務権限を明確化し適切な権限委譲 ○各部署の業務運営に係る予算や進行管理及び点検、等
5	使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制 ●倫理規程 ●コンプライアンス規程 ●公益通報者保護規程	○職員の倫理観をもった事業運営 ○コンプライアンス委員会決定事項の遵守 ○職員への研修等必要な施策の実施、法令違反等を発見した場合の通報者保護の仕組みの周知による法令違反等の早期発見、等
6	監事の職務を補助すべき使用人に関する事項	○監事と協議の上、スタッフの配置を行う等、監事監査の効率的な実施を支援

7	前号の使用人の理事からの独立性に関する事項	○支援を行う職員の理事からの独立性の確保
8	理事及び使用人が監事に報告をするための体制その他監事への報告に関する体制	○理事及び職員が重大な法令違反等を発見した場合の監事への報告 ○監事の求めに応じた職務執行状況の報告の実施
9	その他監事の監査が実効的に行われることを確保するための体制	○監事の理事会への出席や不正等を認めた場合の理事会招集 ○理事や職員へのヒアリングや重要文書の閲覧の実施